2017 年度　卒業論文作成における注意事項

2017 年 11 月 9 日
4 回生担任　村上一真

以下の指示に従って，卒業論文を作成すること．

(0) 審査申請

指導教員のチェックを受けてから提出すること．審査申請書に指導教員印が必要である．

(1) 構成

以下の順序・項目による構成とすること．

１） 表紙：論文題目・著者名を別紙様式に従って作成したもの．
２） 要旨：別紙様式に従って作成したもの．
３） 目次（図表目次を含む）：別紙様式に従って作成したもの．
４） 本文（注・参考文献リストを含む．章の表紙は付けない．）
５） 謝辞
６） 付録

(2) 要旨

論文の要旨を添付すること．その書式は，和文要旨のみ，これまでの中間発表会等と同様の書式にすること．下記 URL の学科 HP に掲載している「卒業論文要旨書式」をダウンロードし，指示をよく読み，同ファイルに上書きする形で書式通りの要旨を作成，提出すること．加えて，下記 URL の学科 HP に掲載している「要旨作成における注意事項」，「参考文献の引用様式」をダウンロードして，その指示をよく読み作成すること．

http://depp-usp.com/zaigaku/download

・本文を日本語で記述する場合：日本語で概要を 4 ページ使用して記述すること．
・本文を英語で記述する場合：英語で概要を 4 ページ使用して記述し，さらに保存版では、これに 1 ページ以内の和文題名ならびに和文抄録を追加すること．
・要旨には、以下の 6 つの項目を必ず入れること．なお，必要に応じてその他の項目を加えても構わない．
  1. 背景・論点
  2. 研究の目的・意義
  3. 研究方法
  4. 結果及び考察
  5. 結論
  6. 参考文献

(3) 本文ページ数

論文を構成するに必要な図表や参考文献リスト等を含めて本文 20 ページ以上とする．上限は 100 ページを目安とする．ただし，要旨，目次（図表目次を含む），謝辞，付録等はこのページ数に数えない（「**(1) 構成**」を参照）．不必要な繰り返しは避けて簡潔に仕上げること．

(4) 書式

1) ページ設定およびフォント

Windows 版 MS Word のデフォルトに準拠する．他のワープロソフトを用いる場合は以下のレイアウトに従うこと．

字体・サイズ	MS 明朝 10.5 ポイント（英数字は半角，Times New Roman，10.5 pt.）
行数および字数	40 字×36 行，字送り 10.6 pt，行送り 18.25 pt
余白	上 35 mm，下 30 mm，右 30 mm，左 30 mm
本文ページ番号	通し番号とし，フッター中央にアラビア数字（1，2，…）で表示すること．
要旨・目次ページ番号	ローマ数字の小文字（i，ii，iii…）を用いる．位置は本文に同じ．図表目次は目次に続けて番号を振る．

なお和文要旨のみ，これまでの中間発表会等と同様の書式にすること．

2) 図表

図表は適切な大きさで本文中の適切な箇所に挿入する．図には図番号と表題，表には表番号と表題をつけること．番号は「章番号-図表番号」とすること（例：図 1-1，表 1-3）．

図番号とその表題は図の下に入れること．

例

図 2-1　引用文献の出現頻度

表番号とその表題は表の上に入れること．

例

表 6-8　文献の引用頻度

図表の表題は，本文と切り離してもそれだけで意味が通じるものにすること．

また，本文中の図表は原則としてページをまたがらないこと．止むを得ずページをまたがる場合は，当該図表を分割して，それぞれのページの図表に図表番号と表題を付けること．

3) 数式

数式は中央揃えとして，式番号は右揃えとすること．

例

$$ax^2+bx+c=0 \qquad (1)$$

4）注記

本文中では記述しにくいが，どうしても言及しておくべきことを述べるために，注を用いる．本文中の注記の箇所には，「注 1)」と右上付きで記載する．注記の文章は章末にまとめ，各章本文の末尾に 1 行あけてゴシック体で［注］と記載し，さらに 1 行空けてから記載する．

注番号は，例のとおり，すべての注番号の前に「注」を挿入する．さらに，2 行目以降は，全角 1 文字分のぶら下がりインデントにすること．注番号の数字とカッコは半角とし，全角 1 字分のスペースをとったうえで，注の文章を記述する．以下の例を参照のこと．

注記の例

……環境基本法注 1) では……（本文終わり）．

［注］

注 1) 1993 年の法律第 91 号によって制定された環境基本法は，環境保全についての基本理念を定め，国・地方公共団体・事業者及び国民の責務を明らかにしている．（以下略）

5）参考文献の引用

本文中の参考または引用箇所の右上に，右上付きのカッコ付き数字で，参考文献番号を記載すること．

例： 文献の引用を記した様式 1), 2), 3) についてはいろいろなものが･･･

参考文献リストは各章末尾（注の後）に記述すること．形式は，学科 HP に掲載している「参考文献の引用様式」をダウンロードして，その指示をよく読み作成すること．

6）付録

参考とする図表や資料などは，付録として巻末に添付する．加えて、付録には，閲覧時点で存在したことを証明するために，閲覧した web ページの該当ページあるいはサイトのトップページの画面コピー（プリントスクリーンしたもの）を掲載すること（web 上にしか存在しないものは必ず）．ただし，同様の引用 web が多数ある場合（多くの調査対象自治体の引用 web など）には，指導教員の了承のもと，掲載を省略して構わない．

⑸ 謝辞

指導教員ならびに研究遂行上，お世話になった方々への謝辞を記すこと（保存版のみ必要）．

⑹ 印刷

仕上がりは左綴じとし，見開き右面が奇数ページとなるように連番で印刷すること．各章は白紙ページを入れずに始めること．卒論本編については，表紙・要旨・目次・本文・謝辞・付録は，それぞれ独立して両面印刷したものを 2 部提出すること．

また，上記とは別に片面白黒印刷の要旨を 1 部提出すること（発表会用配布資料作成原稿）．

⑺ 個人情報を論文・要旨・発表用ファイルに記載するにあたっての注意

論文・要旨・最終発表用のスライドファイルに，個人情報（個人名・団体名，およびそれらを明記したヒアリング内容など）を記載する場合は，調査対象者から，事前に表現などの了解を得ること．もしも了解が得られない，あるいはその時間がない場合は匿名にすること．

⑻ 提出日時

2018 年 1 月 26 日（金）13:30-15:30　B2-209（環境政策・計画学科控室；B2-209 室）

（表紙様式）

県立大学卒業論文における
文献の引用に関する研究

－ 引用の形態を中心として －

Study on the literature citations in the graduation thesis at The University of Shiga Prefecture: Analysis of the form of citations

淡海　富士夫

OUMI, Fujio

環境政策・計画学科において学士（環境科学）の学位授与の資格の
一部として滋賀県立大学環境科学部に提出した卒業研究論文

2017 年度

承認

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

指導教員

タイトルは12 ptのMSゴシック＋Arial、
副題は11 ptのMSゴシック＋Arial

卒業論文要旨の記載書式に関する研究

数字・ピリオド共に全角

研究室・学籍番号・氏名は10 ptの MS明朝＋Times New Roman

鈴木研究室　0312099　山田太朗

１．背景・論点

節項のタイトルは 10 pt の MS ゴシック＋Arial

要旨本文は10 ptの MS 明朝 ＋ Times New Roman

環境問題の解決におい○○○である[1), 2), 3)]．○○．○○が本研究の論点である．

２．研究の目的・意義

そこで本研究では，○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を目的１とし，○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を目的２とする．

本研究の意義は，○○○である．

３．研究方法

研究の目的を次のような方法で達成する．○○○．○○○．○○．

４．着手発表以降の進捗状況

(1)○○について

○○．○○

フォント指定
1．タイトル：12 ptの MS ゴシック＋Arial．副題は11 ptのMSゴシック＋Arial．
2．研究室・学籍番号・氏名：10 ptのMS明朝＋Times New Roman．
3．節項タイトル：10 ptのMSゴシック＋Arial．
4．本文：10 ptのMS明朝＋Times New Roman．
5．図表：原則，MS明朝＋Times New Roman．フォントは読めるサイズにすること．
6．本文中の図表番号：10 pt の MS ゴシック＋Arial．
7．キャプション図表番号:9 ptのMSゴシック＋Arial．
8．キャプション本文：9 pt の MS 明朝＋Times New Roman．
9．参考文献:9 ptのMS明朝＋Times New Roman．

図１　○○の○○との関係

○○○．○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○．その結果を**図１**に示す．**図１**から，・・・・・ということがわかり，目的１を達成する上で，・・・であると言える．

○○○．○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○．○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○．○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○．その結果を**表１**に示す．**表１**から，・・・・・ということがわかり，目的１を達成する上で，・・・・であると言える．

本文中の図表番号は 10 pt の MS ゴシック＋Arial

(2)△△について

キャプションの図表番号は9 ptのMSゴシック＋Arial，キャプション本文は9 ptのMS明朝＋Times New Roman

○○○．○

表１　○○についての比較表

書式指定
1．余白：上下左右各20 mm．
2．文字数：23字，字送り10 pt．
3．行数：50行，行送り14.55 pt．
4．本文は２段組：段の幅23.03字，間隔2.13字．
5．本文：行間１行．
6．句読点は「.」「,」で統一．

図表指定

1．図表はページの上部または下部に集めてレイアウトする．ただし卒論タイトルの前，「６．参考文献」の後には配置しない．
2．図表の横幅は「1 段の幅いっぱい」あるいは「2 段ぶち抜き」のいずれかとする．
3．図の場合にはその下に，表の場合にはその上に，図表番号およびキャプションを入れる
4．図表と文章本体との間には 1 行の空白を空けて区別を明確にする．

図 2　〇〇の推移

〇〇〇．〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇．その結果を**図 2** に示す．**図 2** から，・・・・・ということがわかり，目的 2 を達成する上で，・・・であると言える．

(3) □□について

〇〇．〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇．その結果を**表 2** に示す．**表 2** から，・・・・・ということがわかり，目的 2 を達成する上で，・・・・であると言える．

〇〇．〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

表 2　〇〇についての推移の比較表

図 3　〇□の推移

〇〇．〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇．その結果を**図 3** に示す．**図 3** から，・・・・・ということがわかり，これはこれまでの知見[4), 5), 6)]から，目的 2 を達成する上で，・・・であると言える．

５．結論

調査の結果，以下のことが明らかになった．〇〇〇〇〇〇〇．〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇．

つまり，〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇である．

今後の課題として〇〇だろ

文献リストは 9 pt の MS 明朝＋Times New Roman

６．参考文献

1) 江州滋男：文献の引用に関する研究，文献図書科学，36 (11)，pp.225-229 (1930)

2) 読売新聞（滋賀），2001-02-07 朝刊 17 面

3) 江州滋男：文献の利用法，pp.229-233，県大出版会 (1999)

4) 地球環境パートナーシッププラザ：生物多様性条約 COP10 報告会＜http://www.geoc.jp/partnership /domestic/cop10.html＞，2010-11-12

5) 大津次郎：2010-12-08，電子メール

6) 平凡社百科大事典，平凡社 (1990)

（目次様式）

目　　次

第一章　　序論 …… 1
1-1　　研究の背景 …… 2
1-2　　研究の目的と意義 …… 2
1-3　　研究の方法 …… 2
1-4　　本研究における用語の定義 …… 3
　　参考文献 …… 5

第二章　　調査地の概要 …… 7

・　　・・・　　・・
・　　・・・　　・・
・　　・・・　　・・

第＊章　　結論 …… ＊
謝辞　　…… ＊
付録

＜改ページ＞
（図表目次様式）

図　表　目　次

図 1-1　文献の引用回数の推移 …… 5
図 1-2　引用文献の出現頻度分布 …… 6
……
……
表 1-1　年度別文献の引用回数 …… 4
表 1-2　年度別引用文献の分野数 …… 6